

2025年度の大分県経済の見通し 海外経済の動向に不透明感が残るものの、 所得環境の改善や設備投資の回復から プラス成長を見込む

【要 旨】

- 2024年度の大分県の実質経済成長率は+0.1%と、わずかなプラス成長になる見通しである。
- 上期は、個人消費は横ばい圏内で推移し、生産活動では一部で弱い動きがみられた。設備投資は前年度の反動減で低下した。下期は個人消費が堅調に推移する見込みである一方、住宅投資は上期に引き続き低下基調が続く見通し。有効求人倍率は上期に続き高水準で推移するだろう。2024年度の県内経済は、個人消費が堅調に推移し、わずかなプラス成長になる見通しである。
- 2025年度の大分県の実質経済成長率は+0.9%と、プラス成長を見込む。
- 個人消費は所得環境の改善などから2024年度を上回り、緩やかに持ち直すと予想する。設備投資は環境への配慮や人手不足へ対応するため、前年度を上回る見通し。生産活動は一部に弱さが残りつつも、緩やかに持ち直していく見込み。一方で、公共投資は前年度並みで、住宅投資は低下基調が続く見通し。2025年度の県内経済は、個人消費や設備投資がけん引し、プラス成長になる見通し。ただし、米国の政権交代や中国景気の動向等の影響には留意が必要である。

図表 2024・2025年度の大分県の経済成長率見通し（実質ベース、前年度比増減率）

	2021年度 実 績	2022年度 推 計	2023年度 推 計	2024年度 予 測	2025年度 予 測
実質経済成長率	7.4	2.0	0.5	0.1	0.9
民間最終消費支出（個人消費）	1.1	0.8	0.3	0.2	0.7
民間住宅投資	▲5.9	7.3	▲4.2	▲1.7	▲4.9
民間企業設備投資	▲4.6	17.2	16.5	▲12.7	6.4
政府最終消費支出	0.9	0.7	0.1	1.8	2.0
公的総固定資本形成（公共投資）	1.9	▲7.1	9.6	▲0.4	▲0.2
鉱工業生産指数	101.7	112.0	109.6	101.0	104.5
消費者物価指数（生鮮食品を除く）	99.5	101.9	104.4	107.0	109.1
有効求人倍率	1.21	1.40	1.41	1.35	1.38

注）鉱工業生産指数、消費者物価指数、有効求人倍率は年度平均値で、2021・2022・2023年度は実績値、2024・2025年度は当研究所予測値。